

学問キャリア導入教育「**学問基礎論**」について

大学で学業に励む4年間は、各自の人生キャリアの中で重要なひとこまであり、学問で人間力を高めることが重要となる時期です。その人間力あるいは学問的基礎力を養成するために、知的な理解力・思考力・洞察力の鍛錬にむけた動機づけあるいは基盤づくりとなる「導入教育」を行なっています。この「導入教育」は、学問基礎論と呼ばれる教育として福岡女子大学では進めています。そして、現在、開講されている全学共通科目および専門科目の中には、この学問基礎論の視点を重視して、講義を実施している学問基礎論相当科目があります。

●学問基礎論 I（全学共通（文理統合型）の学問世界への導入教育）

○「人間を学問する」

人間とは何か。この問題は多くの学問・科学にとって、けっして避けてとおることのできない重要な考察課題です。この講座では、人間と、その内面的外面的な活動全般（生・生活・人生）、そして人間を取り巻く環境世界（自然・社会・文化・歴史等）について、さまざまな学問的視点から幅広く考察・探究し、学生諸君を壮大な学問世界に誘います。

授業はオムニバス形式で実施し、専門分野の異なる複数の教員が、「人間」という共通の考察対象にアプローチします。これは同時に「人間」をキーワードとして、本学の学部・学科の垣根を越えた、文理融合の学問的な考察の場を確保する企画でもあります。この科目は、福女 CE プログラムにおける、全学共通の「学問キャリア導入教育科目」として運営されます。

○「科学と生活・社会」

本講義は、科学をめぐるさまざまな研究分野の問題関心や研究方法を知ることが目的とする。講義は、人文学、人間環境学を研究する教員でリレー形式で行い、それぞれの研究者の視点から、科学が日常生活や社会とどのような関係を持っているかを考察する。さまざまな研究分野からのアプローチを学ぶことによって、現代社会の孕む問題に関心を持ち、思考力・洞察力・理解力を育成する。くわえて、大学での学問、研究とはどのようなものかについて感じてもらいたい。この科目は、福女 CE プログラムにおける、全学共通の「学問キャリア導入教育科目」として運営されます。

○「人間の知の探求」

学ぶこと、習うこと、勉強すること、学問すること。自分はなぜ大学に進んで学問するのか。その学問で自分は、われわれは、何を得ようとしているのか。人間はなぜ知を求めて生きるのか。そもそも学問とは何か。

この授業では、女子学生諸君が福岡女子大学で本格的に「学問キャリア」を積むことの大切な意味を問い直し、わたしたちが人間として現代市民として、知を愛し求めること（哲学すること）の重要性を見つめます。

専門科目における学問基礎論相当科目について

その他に、学部あるいは学科の専門科目の中にも、「学問基礎論」に相当する科目があります。これらの科目でも、**理解力・思考力・洞察力**の鍛錬にむけた動機づけあるいは基盤づくりに役立つ「導入教育」が実施されています。

●学問基礎論Ⅱ（学部共通あるいは学科教養的科目）

○文学部

「西洋史Ⅰ」「西洋史Ⅱ」「東洋史Ⅰ」「東洋史Ⅱ」「文学表現D」「美術史概論Ⅰ」「美術史概論Ⅱ」
「言語学概論Ⅰ」「言語学概論Ⅱ」「西洋文学史Ⅰ」「西洋文学史Ⅱ」「英米文学講義Ⅰ」
「英米文学講義Ⅱ」「英米文学講義Ⅲ」「英米文学講義Ⅳ」など

○人間環境学部

「基礎化学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「基礎生物学」「基礎物理学」「基礎数学」「人間環境学講究」など

●学問基礎論Ⅲ（学科専門の学問世界への導入教育）

○文学部

「日本文学への招待」・「世界の中の日本語」・「日本漢文学への招待」・「日本語教育概論」
「日本文学の歴史」・「日本語の歴史」・「英文学史Ⅰ」・「英文学史Ⅱ」・「米文学史」
「英語学講義（英語史）」・「英語学講義（音声学）」など

○人間環境学部

環境理学演習（環境理学科）・「生活環境論」（生活環境学科）など